

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室
TEL：0263-37-2622 FAX：0263-37-3499
発行責任者：地方会長 野見山哲生



巻 頭 言

『産業衛生における基礎研究の重要性』

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 福井県常任理事
福井大学学術研究院医学系部門環境保健学分野 教授
平工雄介



これまで様々な産業化学物質による疾病が大きな社会問題になりました。最近では、印刷工場における胆管癌、インジウム化合物による間質性肺炎、オルト-トルイジンによる膀胱癌などの事例が発生しています。このような事例を受けて、労働安全衛生法および関

連法令(特化則や有機則など)の改正や国際がん研究機関(IARC)の発がん性評価などが行われてきました。これらの施策には現場での疫学調査、対象者の生体試料の分析、動物実験などの基礎研究の成果が反映されています。

「基礎研究」について、総務省「科学技術研究調査」では「特別な応用、用途を直接に考慮することなく、仮説や理論を形成するため又は現象や観察可能な事実に関して新しい知識を得るために行われる理論的又は実験的研究をいう。」と定義しています。「基礎研究」には、動物などを用いた実験研究のみならず現場での疫学研究を含みます。基礎研究は化学物質による疾病をはじめ、産業衛生の様々な分野の発展に貢献してきました。

現在、厚生労働省では化学物質規制の見直しが行われており、危険性・有害性が確認された全ての物質を対象として、自律的管理を基本とする仕組みの導入が検討されています。化学物質の有害性の評価には、ヒトに健康障害を起こす前の段階での実験研究が必要です。産業衛生における基礎研究の重要性は、今後ますます高まると考えています。

最近、日本産業衛生学会に学術委員会が設置され、産業保健の研究活動を推進する取り組みを行っています。私が委員として所属する「産業保健における基礎研究の推進」のサブグループでは、産業保健の歴史における基礎研究の歩みをまとめた総説を「産業衛生学雑誌」に掲載する企画を進めています。

さて、2022年10月16日(日)には福井市内のハピリンホールにて、第65回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会を開催します。本稿執筆時は、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしている状況です。学会の開催形式については、昨年の新潟での学会のように Zoom を併用したハイブリッド開催の可能性を考えていますが、可能な限り皆様と現地でお会いして、研究成果を拝聴できることを期待しています。

第 64 回北陸甲信越地方会（新潟）開催報告

2021 年 10 月 31 日（日）、第 64 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会（学会長 堂前洋一郎新潟県医師会会長）が、新潟県医師会館にて開催されました。

COVID-19 下、新潟県では「特別警報」から「警報」に移行したことを受け、地方会員は「現地参加」と「遠隔参加」のハイブリッド形式を採用しました。第 94 回日本産業衛生学会総会（松本市）で使用された「参加判断フローチャート」及び「現地参加可能条件」を譲り受けて改変し、周知しました。非地方会員は、新潟県内居住者の現地参加のみとし 50 人を上限としました。当日、現地参加は 46 名（会員 35 名）、遠隔参加は 25 名でした。また、新潟県医師会が設置したサテライト会場（長岡市医師会館及び上越医師会館）で、午後の部に計 7 名が参加されました。

開会の後、午前の部「一般演題」で 9 題の発表がありました。テーマは、COVID-19 関連が 2 題、定期健診結果分析が 2 題、「足趾力」「噛む」「たばこ」に関する発表がそれぞれ 1 題、石綿及び有機ヒ素化合物に関して 1 題ずつでした。バラエティに富みかつ濃い内容であり、活発な質疑応答が行われました。

総会を挟んで、午後の部のシンポジウム「with コロナ時代の産業保健」が開催され、興梠建郎新潟産業保健総合支援センター所長の司会のもと、4 名のシンポジストが発表されました。影響晃医師（新潟市民病院感染症内科科部長・感染制御室長）は『臨床現場から見た新型コロナウイルス感染症』と題して、第一線で続けられている対応とそれに基づく職場の感染対策を

講演され、「感染予防技術の向上、偏見差別のない社会への成熟及び危機管理体制の構築等、ピンチをチャンスに変えられるか各々に試されている」と結ばれました。後藤雅博医師（(医)崇徳会 こころのクリニック ウイズ院長）は、『with コロナ時代のメンタルヘルス対策』で、この 1 年半に外来で経験された様々なコロナ関連症例を示され、特に女性の自殺増加に警鐘を鳴らされました。さらに、「普段できていない連携が急にできるはずがない」ことを強調されました。牛腸伸枝保健師（(株)INPEX 国内 E&P 事業本部）は『コロナ禍で始まった在宅勤務と社員の健康管理』の中で、「テレワークではコミュニケーションがこれまで以上に重要であり、その上で対面と遠隔の強みを生かすことを模索するべきである」と指摘されました。

第 64 回地方会では、天候は小春日和に恵まれました。第 65 回地方会（福井市）は感染状況も穏やかな中開催できますよう、祈っております。

（文責：中平浩人）



地方会事業から

◇山梨県における地方会事業から

昨年 10 月の新潟県で行われた北陸甲信越地方会理事会にて、第 33 回日本産業衛生学会全国協議会が山梨で開催されることが承認されました。

開催については、企画運営委員長を小林常任理事が担当され 2023 年 10 月 27 日（金）より 10 月 29 日（日）の日程で開催予定とされております。

会場の選定から運営において、今後、小林常任理事

を中心に企画運営が行われていくことと思いますが、山梨県内関係団体・学会関係者等はもとより北陸甲信越地方会の役員・会員各位のご協力を戴かなければならないと思っております。

また、県内の各部会における研修会につきましては、2019 年の年末から新型コロナ感染症拡大に伴い、研修の催しが延期・中止または、感染拡大防止の対応を講じての縮小開催等の対応に追われている現状で十分な活動が行われていないのが現状です、コロナ禍を脱した後は、感染症拡大以前と同様の活動がで

きるように期待しております。

引き続き学会運営へのご協力をお願いするとともに、会員の皆様におかれましても新型コロナウイルスには十分お気を付け頂いた上で、2023 年の第 33 回日本産業衛生学会全国協議会でお目にかかれたらと思います。

(文責 丸山猛士)



◇第 19 回富山県産業看護研究会学術集会

富山県看護部会では年に 1 回、富山産業保健総合支援センターとの共催で「富山県産業看護研究会学術集会」を開催しています。参加者は 20~30 人程度ですが、産業看護職に加えて産業医の先生、職場の上司、地域保健師さん等と多彩です。内容は研究報告とグループディスカッションを基本とし、小さいながらも充実した集会になっていると自負しています。今年度は 3 月 15 日に開催予定であり、現在、準備に追われています。一番大変な準備は、報告原稿を作ること。自社のデータを用いて、自分が最も注力する事業についてまとめるのですが、毎年、生みの苦しみです。

本集会は今年度で 19 回目になります。ここ 2 年間はコロナのため開催そのものが危ぶまれる状況にもありましたが、開催時期の変更や参加人数の制限等の工夫で、開催を止めずに継続してきました。産業看護職は 1 人職種が多く、業務に追われる毎日だからこそ、意図的に「産業看護職の役割」を振り返る時間が必要。報告原稿を書きながら自分の役割を整理し、他の人の報告を聞きながら産業看護職としてのあるべき姿を見つめる。それが集会継続にこだわる理由です。今、手元には 18 冊の集会抄録集がありますが、私の産業保健師としての歴史であり、読み返すと感慨深いものがあります。

今年もコロナ禍での開催となりますが、次年度の 20 回という節目に向けて、会員一同力を合わせて盛り上げていきたいと頑張っています。

(文責 小野島尚子)



会員の取組み

「活気あふれる健康的な職場を目指して」

一般財団法人 健康医学予防協会
三間聡



昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で働き方・暮らし方が大きく変化し、働く人のメンタル不調者が増加した一年でした。今まで潜在化していた予備軍が顕在化し、ストレスやうつ病の対策を主とする従来のメンタルヘルス対策では、健康的な職場づくりにつながりにくくなったことを実感しました。

新たな対策としてポジティブメンタルヘルスに注目していたところ、私が産業医を務める企業のトップから、ワーク・エンゲージメントの考え方を組織マネジメントに導入したいと提案がありました。経営トップの意思表示から始まり、安全衛生委員会での検討、専門委員会の立ち上げ、新職業生ストレス簡易調査票の採用と結果に基づく社内改革など、企業内での対策はスピード感を持って進んでいます。

昨今では、部署レベルや事業場レベルの資源の向上を図ることが健康的な職場づくりには欠かせなくなり、そこに影響力を持つ、経営・人事部門と協調しながら健康的な職場づくりを進めることがより大切になりました。まだ具体的な取り組みは始まったばかりですが、職場で一体となって取り組もうという意気込みが感じられ、これから職場がどう変わっていくのか変えていけるのか、ワクワクする毎日です。

それとは別に最近嬉しかったことがあります。一緒に動機づけ面接を勉強している保健師さんの指導を受けた社員さんが、見事に減量することに動機づけられ、人が変わったように食事と運動に取り組み始めたことです。私たち産業保健職は、業務の中で面談、面接の比重が大きくなりました。中には難しい面談もあり、私が大変助かったのが動機づけ面接との出会いです。今では web site で創始者の先生方の研修コースを受講できるようになりました。面接のスキルアップを考えている対人支援職の方にはお勧めです。Psychwire のサイトから Motivational Interviewing で検索できますので、ぜひ覗いてみてください。

「安全衛生委員会の活性化」

株式会社高山産業医事務所代表取締役

産業医・労働衛生コンサルタント

高山英之



私は約10年前から産業医の道に入

り、現在数十社で嘱託産業医を勤めています。様々な業種の安全衛生委員会（以下「安衛委」）に出席させていただいています。安衛委にはその会社の安全への思いや、社員大事の思想が色濃く反映されています。出席しながら日々思っていることをまとめてみます。

現在多くの安衛委に出席していますがそのレベルは様々で、以下の3つに分けて対応を考えております。

- ① 安衛委が開催されていない
- ② 安衛委を開催しているが、実効性に乏しい
- ③ 高いレベルでの安全衛生活動が継続されている

最近①のレベルの事業所での取り組みが増えています。人事総務の担当者は安全衛生活動の経験が無く、衛生管理者も専任されていない、そのことを労働基準監督署から指摘され早急に対応しないといけない、といったイメージです。だいたい3~6ヶ月を目安に指導していくようにしています。必要な書式は全てこちらで準備し、作成された議事録には修正をお願いします事も多々あります。時によっては就業規則や組合の運営まで指導しないといけないこともあり、さすがに一産業医としては手に余ります。1年もすると安衛委もうまく運営されるようになり、議事録を確認するだけで十分なレベルに到達する事業所もある程度見られるようになります。

②③のレベルの事業所では、安衛委の参加者の皆様により高いレベルの取り組みに興味を持っていただけるように、委員会での講話に力を入れています。健康増進活動へのサポート、他社の好事例の紹介など、学会での情報収集が大切になってきます。

働き方改革の定着、新型コロナ対策、化学物質への対策など新しい課題が次々と出てきますので、自身の知識のブラッシュアップが重要だと日々感じており

ます。2022年度には新型コロナの流行も落ち着いていただき、学会に参加したいと思っております。また現地でお会いしましょう。

新入会員紹介

長野労働局大町労働基準監督署

岡田尚人



この度、日本産業衛生学会に入会させていただきました岡田尚人と申します。私は、平成31年4月からの2年間、長野産業保健総合支援センターの副所長として勤務させていただきました。在職中は、センター所長である疋咲雄先生ご指導の下、研修事業や地域産業保健事業（県内9か所の地域産業保健センター「ちさんぽ」の運営）のほか、「産業医ネットワークモデル事業」「長野県における治療と仕事の両立支援に関する調査」「中小企業のための新型コロナウイルス感染防止対策」などの業務に携わることができました。その中で、信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室の野見山哲生先生、産業衛生学講座の塚原照臣先生をはじめとする県内の産業保健関係者の皆様から、多大なるご支援、ご協力をいただきました。誠にありがとうございました。現在は長野労働局職員に戻り、労働基準監督署にて勤務しておりますが、企業規模に関係なく県内労働者の健康確保を図るためには、産業保健関係者の皆様との連携がこれまで以上に重要であると実感しているところです。学会の皆様には、今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。



私たちの職場 『石川県立看護大学 地域看護学講座』 助教 室野奈緒子

石川県立看護大学は、県内唯一の看護の単科大学で、石川県のほぼ中央に位置するかほく市に 2000 年に創立しました。「人間の生命や生活の質を真に理解できる豊かな人間性ととも、専門的職業人としての基盤を備え、保健・医療・福祉の幅広い領域で、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職及び看護指導者の育成」という教育理念のもと、約 60 名の教員が日々教育と研究に勤しんでいます。

本学は、学生全員が保健師教育を受け、看護師・保健師のダブルライセンスを取得できる県内唯一の大学であり、地域看護学講座の 5 名の教員がその教育に携わっています。その保健師教育において、本学は 2012 年度入学生から実習に産業看護を入れ、早くから産業保健の教育に取り組んできました。現在、十数か所の県内事業所に実習等で学生の教育にご協力を頂いております。おかげさまで、今では本学の卒業生が県内数か所の事業所で産業保健師として活躍しています。

産業看護実習では、事業所において 2 日間の臨地実習を行っています。実習では、学生らが生活習慣病予防のリーフレットを作成し健康教育を行ったり、安全衛生委員会の中でミニ健康講話をさせて頂くなど、様々な体験をさせて頂いています。特に、手製のリーフレットは、従業員の方々に大変好評のようです。また、コロナ禍において、臨地実習は叶いませんでしたが、事業所と大学をオンラインで繋ぎ、バーチャルでの事業所見学や、学生らが考えた健康教育案について産業看護職の方にご指導を頂くなど、臨地さながらの実習を実施することができました。

実習後の学生たちの学びから、産業看護実習を通して“働く人の健康”という視点を学ぶことは、健康をライフステージの連続性の中で捉え、人々の健康の保持増進における看護職の役割と意義の理解に繋がっていることを実感しています。これは、将来、他分野で活躍する上においても大きな財産になると思います。「産業看護職になりたい!」という学生も少なくありません。将来の産業保健を支える看護職を送り出せるよう、我々教員も今後も教育・研究を通して、産業保健の魅力を学生たちに伝えていきたいと思ひます。



リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます!

会員 Relay ☆彡

次号へ

福井産業保健総合支援センター
大橋 寛子 先生からのご紹介でスタート♪
「産業看護職の尊敬する先輩です」



福井県産業看護部会にとって、頼りになる大黒柱の先生です。

白崎慶子

所属：北陸電力(株) 福井健康管理センター
職種：保健師、健康運動指導士
趣味：空手、旅行、料理
ひとこと：コロナ感染対策や職域ワクチン接種など、迅速、丁寧に従業員の健康支援に努めたい。楽しみは、子供たちとの空手!



信州大学の水木先生。体格が似ており、いつも親近感を抱いています。

高山英之

所属：株式会社高山産業医事務所
職種：代表取締役・産業医
趣味：旅行
ひとこと：最近万年筆を増やし始めました。福井ではなかなか手に取って見ることもできないので、コロナが落ち着いたら大都会の万年筆専門店に行きたい!



水木将

所属：信州大学医学部産業衛生学講座・衛生学公衆衛生学教室
職種：医師・助教
趣味：ドラム、筋トレ
ひとこと：教育・研究・産業保健活動のあらゆる分野に何かしら貢献出来るように、常に考え続けていくことをモットーに頑張ります

事務局から

理事会報告

○2021 年度北陸甲信越地方会理事会

下記の通り行われました。

【日時】2021 年 10 月 30 日（土）18:30～19:30

【会場】ハイブリット会議（新潟県医師会/Zoom）

○役員変更のお知らせ

部会役員

▷産業医部会本部幹事：西澤依小

（西日本旅客鉄道(株)金沢健康増進センター）

▷産業看護部会地方会副部長：小野島尚子

（関西電力(株)人財安全推進室）

今後の行事案内

○2022 年度北陸甲信越地方会 常任理事会

【開催日】2022 年 6 月 18 日（土）

【会場】長野東急 R E I ホテル（長野市）

○第 65 回北陸甲信越地方会・総会

【開催日】2022 年 10 月 15 日（土）理事会

16 日（日）学会・総会

【学会長】池端 幸彦（福井県医師会長）

【事務局長】平工 雄介（福井県常任理事）

【会場】ハピリンホール（福井市）

日本産業衛生学会の選挙の概要

本学会では、2 年に 1 回、役員選挙を行っています。本年度、日本産業衛生学会の役員改選に伴い、理事、監事、地方会長、代議員が選出されます。

役員選挙の公示は、役員任期終了年度の 7 月 1 日までに、中央選挙管理委員会によって行われます。そして、選挙年 7 月末日までに会費を全納している会員のみが選挙人（選挙権及び被選挙権を有する）となり、選挙人名簿を確定します。

その上で、各地方会選挙管理委員会によって代議員選挙、地方会長選挙を実施し、10 月末までに結果を中央選挙管理委員会に報告します。代議員は 11 月 1 日から、2 年間の任期となります。

次に、各地方会選挙管理委員会によって、11 月 1 日から任期を務める代議員を選挙人とし、理事候補者選挙を実施し、その結果を選挙年度の 12 月 25 日までに報告します。

最後に、中央選挙管理委員会によって監事選挙の公示を行い、選挙を実施します。選挙人は代議員です。

地方会長、理事、監事は、選挙年度の翌年度に開催される総会で承認を受け、当日から 2 年後の総会までの任期となります。

本年度より、役員選挙が**電子投票**となります。
パスワードの受信に**メールアドレスの登録が必須**です。
登録アドレスが受信可能か、ご確認をお願いします。
（受信不可の場合、登録変更をお願いします）

本会ホームページがリニューアル

日本産業衛生学会 URL: <https://www.sanei.or.jp/>

（注意 1）リニューアルに際して、**会員ログインの際のパスワードの再設定**が必要となります。

上記 URL からご変更をお願いいたします。

（注意 2）パスワードの設定には、**受信可能なメールアドレスの登録が必要**です。お手数をおかけしますが学会誌に同封される登録情報変更届で登録をお願いします。

日本産業衛生学会 役員・委員一覧

日本産業衛生学会役員および委員会委員に就かれています地方会員の先生方をご紹介します。

（第 94 回日本産業衛生学会総会資料より）

役員

理事 野見山哲生、石崎昌夫

委員

編集委員会 野見山哲生、塚原照臣、

平工雄介

許容濃度等に関する委員会 野見山哲生

生涯教育委員会 亀田真紀

学術委員会 平工雄介

ダイバーシティ推進委員会 川上智子

編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第 10 号を発行することができました。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

コロナ禍における活動の苦難、産業医・産業看護職の役割を改めて認識する記事が見受けられ、ここに会員の皆様の取組みをお知らせすることができましたことを喜ばしく思います。今後も地方会員の皆様の活動や取り組みを広報し、地方会におけるさらなる産業保健の発展を皆様とともに担って参りたいと思います。

ご意見やご感想などございましたら編集委員までお寄せ頂きますと幸いです。

編集委員（五十音順）

編集委員長：森河裕子

副編集委員長：塚原照臣

編集委員：池田裕子、稲寺秀邦、遠藤和男、
小坂智恵子、佐藤一博、高山英之、
角田ひろみ、西澤依小、松永康弘、
丸山猛士

事務局：當房浩一、長谷川航平、水木将